

# 全県版

改築 **リフォーム** 増築

ミサワ中国建設(株)

本社/岡山市北区下中野 倉敷営業所/倉敷市白楽町

TEL 0120-413309  
TEL 0120-941171



## 「今後も伸び伸びと」 木山捷平文学選奨 短編小説賞を受賞 太田さん表彰

笠岡

郷土出身の詩人・小保健センターであり、説家木山捷平(1904~68年)を顕彰する第8回笠岡市木山捷平文学選奨の表彰式が3日、同市十一番町の市三島市長(左)から賞状を受け取る太田さん

木山捷平文学選奨短編小説賞を受賞した太田さん(右)と市長(左)の授賞式の様子。

捷平の長男万里氏、選考委員を務めた文芸評論家川村湊氏、小説家佐伯一麦氏ら約150人の出席者を前に、三島紀元市長が「受賞が文壇へのワンステップにつながれば」とあいさつ。賞状と賞金50万円を手渡し、太田さんは「今後もチャレンジャーらしく伸び伸びと書いていきたい」と述べた。

## 県内の歴史団体 データベース化 連携強化狙う

岡山研究会

県内の歴史愛好者らでつくる岡山歴史研究会(事務局・岡山市北区平山)は、郷土の歴史関連団体を紹介するデータベースづくりを進めている。団体間の情報交換や連携に役立ててもらおうと狙っている。



データベースへの収録情報を点検する岡山歴史研究会メンバー

で、4月末をめどに同研究会ホームページ(http://okaneki.net/)に公開する予定。計画によると、データベースには歴史遺産の研究や保護、先人顕彰などに取り組む県内団体を幅広く収録。活動内容や連絡先を認知し合えるようにする。

昨秋から調査票を郵送、回収する方式で情報収集に着手。既に約50団体の情報が集まっており、天野勝昭会長は「これまでは団体間の横のつながりが乏しかった。データベースを通じて連携を広げ、歴史豊かな岡山の魅力をさらに全国発信したい」と話している。

掲載希望など問い合わせは同会事務局長の山本敦さん(086-287-6226)。(馬場信彰)

# 希少糖研究40年の歩み

(二羽俊次)

版した。有用性が全く認められていなかった希少糖に着目した理由や、砂糖に代わる甘味料として脚光を浴びるまでの足跡がつつられている。

血糖値を抑え健康に役立つとして注目される希少糖の大量生産法を確立させた何森健・香川大特任教授(69)＝玉野市出身＝が、約40年間に及ぶ研究の歩みをまとめた「希少糖秘話」を出

## 何森・香川大特任教授(玉野)が出版



「希少糖秘話」を出版した香川大の何森特任教授

1972年ごろ、香川酵素をたまたま発見したから玉野への帰省に利用することが研究の始まり、と説明していた宇高連絡船の機関室でエンジン冷却用の海水を採取し、希少糖生産に利用できる微生物の研究から国際学会での論文

## 着目理由や秘話つづる

「この1枚のファクスが届いていなければ、研究を続けていかなかった」と述懐している。

また、国内では最近まで希少糖研究を手掛ける人が極めて少なかったことを踏まえ、ミレーの名画「落ち穂拾い」を引き合いに、最先端の研究を農家によって刈り取られた穂、自身の研究を残された落ち穂にたとえ、「落ち穂の中に誰も見つけたことの無いものが残されているに違いない」「ゆつたりと落ち穂を拾うように、皆が見逃している研究をじっくりとやる」と記している。

何森特任教授が代表を務める希少糖生産技術研究所(香川県三木町)が発刊。2006年6800円(税別)。宮脇書店などで取り扱っている。問い合わせは同研究所(087-8999-1886)。

## 大人顔負け 神木争奪

岡山・道通宮で子供会陽

福男に大谷、吉原君



本神木を奪い合う子どもたち

岡山市中区沖元の沖田神社・道通宮で3日、恒例の子供会陽があった。まわし姿の男児が大人顔負けの神木争奪戦を繰り広げ、同市立岡南小6年大谷公人君(12)、同市立大元小5年吉原奨君(11)が福男になった。

小学生以下の約250人が参加し、「わっしょい、わっしょい」の掛け声で境内前を練った。景品神木200本と副神木20本の奪い合いの後、小学4年以上の約150人が対象の本神木2本を投下。顔や胸を赤く腫らしながら激しく体をぶつけ合った。

初挑戦だった大谷君は「他の参加者の一瞬の隙を突いて勝負を決めた。今までの人生で一番うれしい」、吉原君は「この日のために1年間お父さんと練習した成果が出た。連覇を目指す」と話した。

道通宮の会陽は江戸末期に始まったとされ、1955年から子供会陽として開かれている。(宮本慶一)



雪中、足踏み洗濯を披露する保存会メンバー

## 小雪舞う中 洗濯ダンス

奥津

鏡野町3日、奥津にいた実演の着物が小舞の着物を宿泊

短編小説賞は木山捷平2005年度に創設。「応募があった。笠岡市」平文学賞を引き継いで「国内外から288編の」民らを対象にした詩、筆の

### こよみ

3月5日 (旧1月24日)

日出 6:29  
日入 18:03  
月出 0:54  
月入 11:15

宇野港 小潮

満潮 4:48 (潮位) 202cm  
同 16:02 (潮位) 166cm  
干潮 10:57 (潮位) 100cm



第13回 公明党新春のつどい

党となって十数年ぶりに税制改正を行った。自民党とは所々意見がぶつかることもあるが、景気を良くするた

めしっかりタッグを組む」と与党としての存在感を訴えた。

党支持者のほか、自民党衆議院議員や県議、知事、岡山、倉敷市長ら約1200人(主催者発表)が参加。県本部は同日、津山市内でも県北の支持者を中心とした「新春のつどい」を開いた。(木村俊雄)

## 新小学1年おめでとう

3日、教育